

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	綾瀬市消防本部・綾瀬市消防署	階数	地上3階
建設地	神奈川県綾瀬市深谷3797番2 他地内	構造	RC造
用途地域	準住居地域、準防火地域、都市計画地域内	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年1月17日
敷地面積	2,094㎡	作成者	(株)エネ・グリーン
建築面積	1,302㎡	確認日	2018年1月17日
延床面積	3,611㎡	確認者	(株)エネ・グリーン



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 職務が円滑に執り行えるよう、シンプルで機能性を重視した計画。サービス性能、資源マテリアルによる影響の向上に努めている。また、省エネルギーに取り組んでいる。		特になし
Q1 室内環境 全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用し、空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 9㎡人以上、十分な天井高を確保した執務スペースを計画。リフレッシュスペース、レストスペースを充実させ快適なオフィス空間造りに配慮している。また、サービス性能を重視している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地環境に合った緑化計画に努めている。
LR1 エネルギー LED照明など高効率設備を採用している。	LR2 資源・マテリアル 節水に取り組み、材料にリサイクル品を多く採用している。OAフロアを使用し、部材の再利用に取り組んでいる。	LR3 敷地外環境 照明チェックリストの過半項目を満たし、光害の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される